

# わくや



## 【9月会議】

- 財政非常事態宣言解除に向けて(決算審査)・・・ 2
- 町政をたたく〈一般質問〉…………… 8
- 輝く皆さんの声〈キラキラVoice〉…………… 16

**安全運転を再認識!**  
涌谷自動車学校  
シルバー交通大学



# 9月 会議

## 決算審査 特別委員会

令和4年度の各種会計決算については、決算審査特別委員会を設置し、9月11日、12日で審査を行いました。

ここでは主な質疑と答弁を掲載します。



大泉 治 委員長

### 決算審査

令和5年涌谷町議会定例会9月会議は、9月7日(木)から13日(水)まで開催され、人事案件3件、令和4年度決算の認定1件、令和5年度各会計補正予算6件、その他の町長提出議案6件の審議を行い、全て原案のとおり可決しました。

一般質問では7人の議員が登壇し、9項目について町政をただしました。

#### 総括質疑

少子化対策や定住施策の考えは

門田善則 委員

**問** 一般会計、特別会計共に黒字決算となったことは、町長をはじめとする職員が一丸となって改革に取り組んだ成果と考える。

しかし、現状として少子化や人口減少が進み、将来的に担い手不足など課題の深刻化が懸念されるが、少子化対策、定住施策をどのように考えているのか。

**答** 少子化、人口減少対策は2期目において最大の公約であり、これまでも限られた財源の中で子育て支援、移住定住施策を進

めてきた。また、財政非常事態宣言を解除することが最優先課題であり、何よりも町を明るくするものと認識している。そのため、令和5年度についても財源のない新規事業は極力行わない方針である。

#### 一般会計質疑

##### 歳入

振興公社に対する貸付金の記載は

稲葉定 委員

**問** 振興公社に対する貸付金について、決算書に記載すべきではないか。

**答** 歳入歳出一致が原則であり、返済のめどが立っていないため、載せていない。

##### 歳出

#### 総務管理費

防犯協会各支部における決算書の状況は

杉浦謙一 委員

**問** 防犯協会へ補助金を出しているが、支部の段階での決算書はどのような状況か。

**答** 全ての支部で決算書ができ、ある支部では新たな役員体制で活動している。

集会所と掲示板の整備に対する補助限度額は

佐々木みさ子 委員

**問** 集会所と掲示板の整備に対する補助の限度額は

度額はいくらか。

**答** 集会所は30万円以上の経費で、その3分の1相当が補助額であり、限度額は200万円である。掲示板は全額補助であり、限度額は5万円である。

職員研修実施の考えは

後藤洋一 委員

**問** 職場環境を把握し、さまざまな研修を継続的に実施すべきと思うが、どのように進めるのか。

**答** 主体的な研修への参加を推進し、働きやすい職場環境の整備に努めていく。

# 財政非常事態宣言 解除に向けて

～財政再建計画は  
順調に推移～

## 決算審査

町民バスの運行経路  
見直しの考えは

鈴木英雅 委員

**問** 大崎地域の医療連携に伴い、大崎市民病院などへの町民バスの運行を考  
えるべきではないか。

**答** 利用者の声を聴きなが  
ら多角的に検討し、よ  
りよい公共交通サービスを  
導入していく。

## 保健衛生費

給付金の電子申請は

佐々木みさ子 委員

**問** 令和5年2月から出  
産・子育て応援交付金  
事業が開始されたが、出産・  
子育て応援給付金について、  
スマートフォンなどによる  
電子申請は可能か。

**答** 現時点では対応してい  
ない。

## 農業費

畜産農家に対する支援を

後藤洋一 委員

**問** 経費高騰により逼迫  
(ひっぱく)している畜  
産農家に対して、PRRやキャ  
ンペーンによる支援は考え  
ているのか。

**答** 現在、牛乳普及キャン  
ペーン実施に向けて  
取り組んでいる。その他の  
対策も、農家の方々の意見  
を聴きながら検討していく。

## 商工費

起業に対する補助事業を

稲葉定 委員

**問** 起業に対する補助事業  
はあるのか。なければ  
行う考えはないのか。

**答** 県の事業ではあるが、町  
の事業としての施策は、  
財源や方法など検討する。

## 消防費

町の安全と安心を  
守るために

只野順 委員

**問** 消防団について、新入  
団員へ安全教育を行っ  
ているか。また、自動車班  
の再編など進めるべきでは  
ないか。

**答** 所属分団で研修をし  
ている。また、現員は  
3名で活動に支障があるた  
め、幹部と相談し、今後の  
在り方を検討する。

## 中学校費

予算を大幅に補正した  
理由は

伊藤雅一 委員

**問** 補正予算額が当初予算  
額を上回ったのはなぜか。

**答** 主に、スクールサポー  
ター任用に係る報酬、  
光熱水費、中体連などの県  
大会出場に伴うバス代など  
に対して増額となった。

## 保健体育費

物価高騰による給食費  
補助の考えは

杉浦謙一 議員

**問** 給食に関して物価高騰  
による影響はどうか。  
また、保護者負担軽減とし  
て給食費の一部補助や無償  
化の考えはあるか。

**答** 影響は大いにある。ま  
た、無償化の検討とは  
別に物価値上がり相当分  
の補助を検討する。



おいしい給食

社会教育費

スタジアムの修繕を

門田善則 委員

**問**

涌谷スタジアムは電光掲示板が使えない状態が続いているが、どのような状況か。

**答**

設置業者に問い合わせをして返事がなく、別の業者にも相談している。他にも修繕すべき箇所があるため、優先順位を検討し対応する。

災害復旧費

災害復旧費の財源は

伊藤雅一 委員

**問**

補正予算額1億9633万7千円は、どのように確保したのか。

**答**

台風、地震によるもので国、県の対象になるものは災害査定を受け、事業費が確定した。その他に災害復旧債を利用し、財源を確保した。

本会議討論

稲葉定 議員

指定管理者である振興公社職員への損害賠償金肩代わりがあったが、事業者に全く責任を取らせずに一般会計から指定管理料として支出し、成果表もなく、ただの委託料として処理している。この処理方法が唯一だとは思えない。民間の手法で管理運営してもらわなければならない。指定管理者制度を都合の良い下請け事業所として利用している。

また、貸付金の処理についても再三指摘しているが、決算書に記載しておらず、事実を意図的に隠している。としか理解できない。地方公共団体の決算書としてあるまじきことである。

さらに、認定こども園建設においては、短時間で議決を求めるなど強引さが際立つ手法があり、今後の幼児保育という事柄に対して拙速と言わざるを得ない進め方であった。

このような執行をした決算に賛同はしない。



涌谷スタジアム

令和4年度各会計歳入歳出決算額

(万円未満切り捨て)

会計名	歳入	歳出	※翌年度への繰越財源額	実質収支額
一般会計	84億8320万円	81億9700万円	1億4332万円	1億4288万円
※特別会計(3会計)	42億3153万円	41億4423万円	—	8730万円
収益的収支	収入	支出	—	収支
水道事業会計	3億9424万円	3億6508万円	—	2916万円
下水道事業会計	4億7556万円	4億7027万円	—	529万円
病院事業会計	20億4772万円	19億6247万円	—	8525万円
老人保健施設事業会計	4億7331万円	5億3151万円	—	△5820万円
訪問介護ステーション事業会計	5916万円	5807万円	—	109万円

※翌年度への繰越財源:年度内に完了しないため翌年度に繰り越す事業に充てるための財源。

※特別会計(3会計):国民健康保険事業会計、後期高齢者医療保険事業会計、介護保険事業会計のこと。

## 財政分析指標の推移

(普通会計・単位:%)

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	備考
財政力指数(3カ年)	0.40	0.38	0.38	1に近くあるいは1を超える程財政力が強い
実質収支比率 $\frac{\text{実質収支}}{\text{標準財政規模}}$	3.6	1.9	2.8	3~5程度が望ましい
経常収支比率	89.0	78.6	81.9	おおむね70%~80%の間であることが理想
義務的経費比率 $\frac{\text{人件費・扶助費・公債費}}{\text{歳出総額}}$	32.1	37.2	35.3	高い程財政構造悪化となる

※標準財政規模には、臨時財政対策債発行可能額が含まれている。

財政力指数は、0.38と前年度と同様に財源に余裕がないことが伺える。

経常収支比率において、歳入では固定資産税で約1億円の増額があった。

歳出では、指定管理委託料や病院会計操出金の増額があったが、財政再建計画推進中のため、事業の縮減継続、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金内でのコロナ対策を徹底し、財政調整基金を取崩さず財政運営を行ったことなどから、単年度では昨年度78.6%から81.9%に上昇したものの、3カ年の平均では、86.3%から83.2%に改善した。

この改善には、財政再建計画の推進やコロナ禍による事業中止など、一時的な要因があると考えられるため、今後も社会の動向を見極め、より健全かつ効率的な行財政の運営に努められるよう望む。

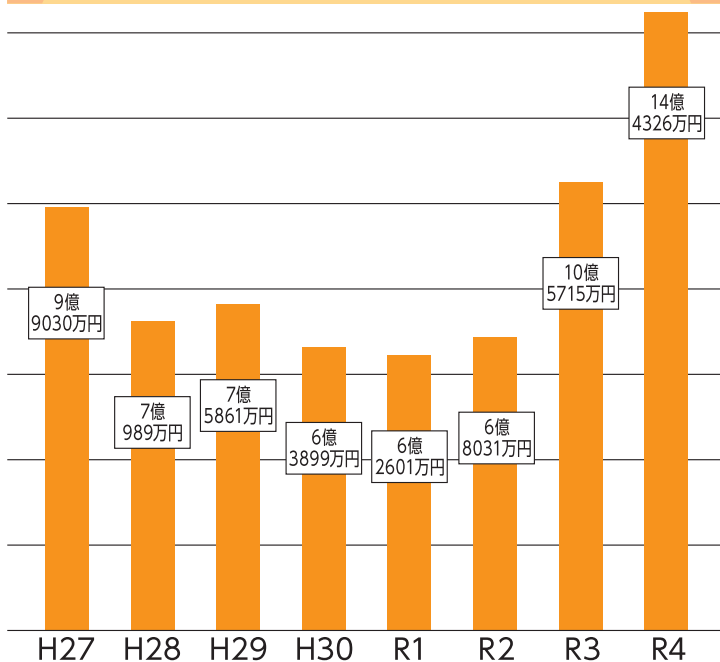
## 決算審査

## 一般会計 監査意見

代表監査委員 遠藤 要之助  
監査委員 竹中 弘光

今後も社会の動向を見極め、より健全かつ効率的な行財政運営を

## 一般会計財政調整基金残高



※財政調整基金とは、黒字となった年度に決算余剰金を積み立てておき、景気の悪化や災害などで赤字となった年度に取り崩して財源とすることができます。

## 国民健康保険病院事業会計意見

経常収支比率が104.5%と平成23年度決算以来の100%超えとなり、対前年度比10.3ポイントの増となった。医業収支比率が84.3%と対前年度比2.4ポイント減の中で、医業外収益の増収確保にコロナ患者を受け入れた努力の成果であると認める。

## 老人保健施設事業会計意見

当年度は新型コロナウイルス感染症(以下「コロナ」という。)の影響で入所、通所共に利用者数、収益が減少し、経常収支、施設事業収支が大きく悪化した。来年度以降は、コロナも収束傾向にあるため、なお一層改善に向けた努力を望む。

## 決算審査を終えて

令和4年度は、町長が令和元年度に就任し、4年の任期の中での実質的な最終年度となったが、財政分析指標においてはおおむね改善が見られ、各種基金においては、総額で前年度から7億267万5千円の増額となっている。このことは、財政再建計画が順調に推移していることの表れと思われ、コロナと財政逼迫(ひっばく)の影響を引きずりながらも、事務執行を行った職員の苦勞と努力を多としたい。

令和5年度は、このままコロナも収束に向かうものと思われるが、財政再建計画については最終年度でもあることから、企業会計も含めた財政健全化に取り組むとともに、事業成果もコロナ以前の状況を超えるよう、さらに努力されることを希望して、意見の総括とする。

〈一般会計補正予算(第4号)の主な内容〉

▶これまでの予算額に3億252万円を増額

歳出

・基金管理経費などの総務費	1億8121万円
・介護サービス事業費などの民生費	6557万円
・道路維持補修事業費などの土木費	3007万円
・原子力災害対策経費などの消防費	2690万円
・中学校施設整備費などの教育費	1192万円
・その他経費	△1315万円
	※万円未満切り捨て

# 一般会計 補正予算

## 質疑

町民バスの運営方針は

**問**

「町民バスは使いづらい」との声があるが、運営方針は検討したのか。また、人口減少や高齢者の免許返納などに伴い、町民に寄り添った施策が必要だと思いがどうか。

**答**

検討していない。令和5年度は町民へのアンケート調査などにより、地域公共交通の在り方を多角的に検討していく。

大谷地線工事の状況は

**問**

大谷地線の道路工事は完工したのか。

**答**

現在実施中であり、メインである車道部や歩道部は完了しているが、付帯工事は残っている。年内中の完工を目指している。



完工間近の大谷地線

## 9月補正

水路管理の状況は

**問**

水路の管理について、土地改良区との協議などは、どのような状況か。

**答**

土地改良区と協議中である。これまで、主に農家の方々に管理されてきたが、人手不足などで行き届いていない状況である。できる所から対応する。

原子力災害時の

交通の確保を

**問**

原子力災害時の検査場所である涌谷スタジアム周辺の改修工事に関して、予想される避難車両数は何台か。また、安全で円滑な交通の確保が必要ではないか。

**答**

検査場所には約1万1千台が入り、1時間当たり約300〜400台が通過する想定である。また、運営を行う県に対しては混雑とならないように要請している。

小学校の植栽整備の

状況は

**問**

月将館小植栽整備事業とは何か。また、各学校の植栽などは、毎年行っているのか。

**答**

学校環境緑化モデル事業として本年度は全国77校を対象に行われた。また、各学校での植栽整備は毎年予算計上している。

中学校の校庭整備の

考えは

**問**

中学校の校庭の土が西風によって東側のフェンス付近に寄せられている。フェンス改修工事と併せて整備する予定はあるのか。

**答**

今回はフェンス改修のみであるが、学校と協議し、状況を確認しながら、今後の対応を考える。



涌谷中学校フェンス付近

# 老人保健施設 事業会計 補正予算

## 質疑

繰入金の理由は

**問** 繰入金の5千万円は、一時借入金として対応できないのか。

**答** 新型コロナウイルスなどの影響による収益減、光熱水費の高騰、人件費の質上げや処遇改善など、昨今の社会情勢の変化により、歳入に不足がある場合は繰入金を充てるしかない。

運営の維持を

**問** 老人保健施設は、今後ますます町民が必要とする施設である。運営を維持するべきではないか。

**答** 他の施設とのニーズのすみ分けを行い、経費を抑えながら、継続して運営していく。



涌谷町老人保健施設

### 9月会議採決状況 ○…賛成 ×…反対 議長(後藤洋一)は可否同数にならない限り採決に加わりません。

件名	黒澤	涌澤	竹中	佐々木	稲葉	只野	伊藤	久	杉浦	門田	大泉	鈴木	後藤	議決結果 (賛成:反対)
	朗	義和	弘光	みさ子	定	順	雅一	勉	謙一	善則	治	英雅	洋一	
令和4年度涌谷町各会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	×	○	○	○	×	○	○	○	—	認定 (10:2)

## 県北地方町議会

### 議員研修会・交流会

令和5年7月5日(水)に涌谷町町民医療福祉センターにおいて、令和5年度第16回県北地方町議会議員研修会が行われました。講師には、野球評論家で元読売巨人軍の篠塚和典氏を迎え、「スポーツと地域づくり」と題して、自身の経験を交えながら「誰かのために」とみなが思える環境をつくるのが大事であることなど、貴重な講演を受けることができ、活発な質疑応答が行われました。

その後、わくや天平の湯において交流会が行われ、県北6町(色麻・加美・涌谷・美里・女川・南三陸)の首長も交え、県北地方の振興発展のため、行政課題の共通理解を図るとともに、相互の交流を深めました。



9月補正など

9月会議では、9月7日、8日に一般質問が行われ、7人の議員が町政について質問をしました。

掲載されている質問と答弁は、質問した議員が600字以内で要約し、広報分科会委員が調製したものです。

町のホームページでは、動画の録画配信を行っていますので、そちらもぜひご覧ください。

涌谷町ホームページURL  
(<http://www.town.wakuya.miyagi.jp>)



### 杉浦 謙一 議員(9ページ)

- ① 国民健康保険の一部負担金減免制度の活用は
- ② 町内の公園での整備状況は

### 只野 順 議員(10ページ)

- ① 明るく元気なまちづくりについて
- ② 若者向け公営住宅の建設の検討は

### 久 勉 議員(11ページ)

- ① 麓岳山線の道路改良を

### 鈴木 英雅 議員(12ページ)

- ① 人口減少対策等で、教育現場の環境整備の考えは

### 黒澤 朗 議員(13ページ)

- ① 今後の空き家対策と、人口減少への取組について問う

### 佐々木 みさ子 議員(14ページ)

- ① 人口減少に対応した安全、安心な町づくりについて

### 涌澤 義和 議員(15ページ)

- ① 2期目の町政運営について

一般質問とは、議員が町の行財政全般にわたり、事務の執行状況や将来に対する方針などについての考えを問い、報告や説明を求め、よりよい方向へ導くものです。

# 町政をただす

一般質問





## 問 国保一部負担金減免の実績は

## 答 収入減少での近年の実績はない

**問** 国民健康保険法第44条に基づく一部負担金減免制度の実績はあるのか。

**町長** 東日本大震災や令和元年の台風第19号の災害時には、国の基準を基に要綱を定め、減免などをしている。収入が著しく減少した方への減免などは、近年実績はない。

**問** 減免または猶予の基準は何か。

**町長** 一部負担金を支払うことにより、当該世帯の過去3カ月の平均実収入月額が、生活保護基準額に非課税世帯の医療費自己負担限度額3万5400円を合算し、それ以下になることが見込まれる方は、免除などを行うことになっている。

**問** 収入の減少によって、減免または猶予を利用するためには何が必要か。

**町長** 申請手続きが必要になるが、「低所得」を減免事由とする判定基準は難しいため、保険証の更新時やホームページなどで、分かりやすく、継続的に周知していきたいと考えている。

**町長** 申請手続きが必要になるが、「低所得」を減免事由とする判定基準は難しいため、保険証の更新時やホームページなどで、分かりやすく、継続的に周知していきたいと考えている。



## 問 公園の修繕要望への対応は

## 答 直営や業者委託で行っている

**問** 公園の除草などの整備計画はどのようなものか。

**町長** 「城山公園」、「中央公園」、「駅前広場」は、除草や樹木の剪定(せんでい)に係る業務を業者委託により実施しており、「追戸横穴歴史公園」は地区の任意団体へ委託している。

なお、「江合川河川公園」、「石仏広場」、「ひだまり広場」などは職員が対応している。

**問** 公園における修繕要望があつた場合はどのようにするのか。

**町長** 職員による日常点検、また、住民や利用者からの通報で異常を確認した場合は、直営もしくは業者委託による修繕を行っている。

なお、中央公園の遊具などは毎年安全点検を実施し、維持管理に努めている。



涌谷中央公園



# 問 積極的な町づくりを

# 答 まずは病院経営を改善する

**問** 職員の努力、町民の協働で財政調整基金は14億円以上となった。非常事態宣言を解除し、積極的な町の宣伝につなげるべきではないか。

**町長** 有識者会議の答申を踏まえ、現在、病院の経営改善に取り組んでいる。今後の有識者会議の意見を参考に非常事態宣言の解除時期を見極めていく。

**問** 病院経営の改善策はあるのか。

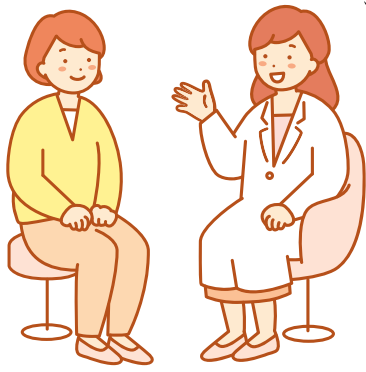
**副センター長** 病院規模の適正化として、令和5年4月から病床を121床から99床にしている。さらに、収支改善による黒字化や一時借入金金の解消を目指し、取り組んでいる。

**問** 財政再建計画における人材育成など「その他の取組」の評価はどうか。

**総務課長** 人材育成について、コロナの影響により十分に研修の機会を設けることができなかつたが、今後は計画的に進めていく。

**問** 地域おこし協力隊と町民の交流を図り、さらに活躍できるような環境をつくるべきではないか。

**企画財政課長** 産業祭で皆合い、発表する機会を設ける。



## 一般質問

# 問 移住定住促進の考えは

# 答 費用対効果を勘案する

**問** 進出してくる企業が300名ほどでスタートするようだが、用地の確保など従業員の移住定住の準備を進めるべきではないか。

**町長** 新築住宅の建設や購入費用の一部を補助する事業を継続し、PRしていく。保育の要望には対応してきた。また、住宅の確保については費用対効果を勘案して慎重に判断する。

**問** 移住定住促進に向け、上涌谷の淡島、一本柳住宅の再編や及川橋付近の住宅用地の調査、民間住宅の把握をしておくべきではないか。

**まちづくり推進課長** それらは想定しておらず、把握していなかったため、検討する。



ウェルファムフーズ 工場建設地

久



勉  
議員

問

箕岳山線の道路改良を

答

令和7年度から改良工事を行う

問

箕岳山線の道路改良について、以前から質問し、提言しているが、進展が見られない。町長として、必要ないものと考えているのか。

町長

箕岳山線については、令和2年12月会議において「箕岳山線の道路を改修すべき」と質問をいただき、その際「町の各種事業との調整を図りながら、今後進めていきたいと考えている。」と答弁している。箕岳山線は観光道路として重要な路線と認識しており、道路整備の必要性を感じている。これまで、箕岳山線においては、狭い箇所も多いことから、局部改良の検討も行ってきたが、町道舗装の劣化状況から、道路改良よりも舗装補修を優先して実施している現状である。

問

多額の経費が掛かるとのことだが、令和4年度決算では、ゴルフ場利用税交付金が約1300万円、ゴルフ場に係る土地貸付料が約650万円であり、さらに過疎対策事業債を活用すれば、町の負担を抑えて事業ができる。ぜひ12カ所の改良工事を計画どおり行っていただきたい。

町長

設計はまだなく、担当からは概算で10億円以上の経費が掛かると聴いており、難しいと思っていたが、それでは前に進まない。活気ある町のシンボルとなるよう、まず一歩を踏み出すことに全力で取り組みたいと思っている。



改良を待つ箕岳山線

一般質問



## 問 特色ある学校づくりを

## 答 引き続き検討、協議していく

**問** 2007年をピークに国内の人口が減少に転じており、歯止めをかけるための対策が多岐にわたっている。その中で、地域住民の理解や協力を得ながら、「特認校制度※」を活用した独自授業や英語力を養うなどの小規模校に見合った環境整備の考えはあるのか。

**町長** 現在、少子化や施設の老朽化に伴う学校、幼稚園の再編などを検討しており、教育委員会と十分協議を重ねながら、子どもたちにとって最もよい方策を引き続き検討していく。

**教育長** 小規模特認校は、「地域の特性を生かした特色のある教育」を行うことができる他、「小規模であるため先生の目が行き届く」、「縦割り学習が多く他学年との交流が多い」などのメリットがある一方、「競争心があまり育たない」、「学校への通学に時間などがかかる」などの課題もある。子どもたちにとって最もよいと思われる学校、

幼稚園の在り方を「小規模特認校」も念頭に置きながら、引き続き検討、協議を行っていく。

**問** 特徴のある学校など、子どもたちにとってよい環境づくりがふるさとへの愛着を育み、人口減少対策につながると思うが、どう考えるか。

**町長** 小規模校だからこへのきめ細かな指導などを十分に行い、結果として特徴のある学校になっていitだきたい。どのように進めるかをさらに検討し、効果を上げられるような形にしていきたいと考えている。

※特認校制度：…従来の通学区域は残したまま、特定の学校について、通学区域に係なく、当該市町村内のどこからでも就学を認めるもの。

児童が稲刈りに参加している様子。



篔岳白山小学校の稲刈り体験



## 問 人口減少対策への挑戦は

## 答 皆さんと一点突破で取り組む

**問** これまで行われてきた空き家対策と今後の対策はどのようなことか。

**町長** 「浦谷町空家等対策協議会」を年2回開催しており、平成28年には「浦谷町空家等対策計画」を策定した。平成29年には「浦谷町空き家バンク」を開設し、空き家などの有効利用と適正管理の促進を図っている。今後は、「空き家相談会」の開催を検討しており、継続して管理不全空き家の解消に努めていく。

**問** 現在、町内の空き家は508件あると聞いている。当初の計画から6年たつが、成果はあるのか。

**町民生活課長** 「空き家バンク」により、現在までの登録件数24件のうち取り下げが6件、契約成立が9件である。

また、平成元年度に空き家対策総合支援事業を実施し、国庫補助金を活用した空き家の活用や除却を図っている。さらに、管理不全空き家などの所有者に対し

て適正な管理を依頼している。

**問** 現行の施策は空き家などをただ管理しているようにしか思えない。地域おこし協力隊や新規就農などを絡めた、人口減少対策の考えはあるのか。

**企画財政課長** 地域おこし協力隊に関しては、意志に応じて空き家などの活用を推進させていただく。

**問** Uターン移住を促進させる施策の考えはあるのか。

**町長** 抜本的な対策はないと思っており、小さなことの積み重ねが大事である。有識者の意見を聴きながら対応していく。

**問** 人口減少対策の取り組みと中心市街地活性化に向けた考えはあるのか。

**町長** 町民の皆さんや議会と一つになり、一点突破で継続的に取り組んでいく。



変化が問われる中心市街地



**問** 情勢とニーズに即した町づくりを

**答** 最適かつ安全で安心な町を目指す

**問** 今後の人口減少、高齢化に対する交通手段の検討は行われているのか。

**町長** 町民バスの利用状況は低迷しており、デマンド交通方式による運行やタクシーによる移動手段の確保など、地域交通の在り方を検討するよう指示した。今後、利用者や専門家などから意見を頂戴しながら最適な移動手段の確保、地域交通を取り入れたいと考えている。

**問** 運転免許の有無別など、公共交通機関の利用実態は把握しているのか。

**企画財政課長** これまで調査したことはない。

**問** 病院への移動手段確保の考えはあるのか。

**企画財政課長** 町民バスは町国保病院に止まるよう配慮している。各個人病院へは、近くの停留所から歩くことになる。

**問** 暮らしの安全、安心して生活できる地域づくりについて、どのように考えているのか。

**町長** 交通事故ゼロの町、犯罪のない安全で安心なまちづくりを目指し、さまざまな対策を講じている。今後も遠田警察署、交通指導隊、防犯協会などの各団体の協力を得ながら、町と地域の皆さんが一体となり、安全で安心して暮らせる町を目指していきたいと考えている。

**問** 誰もが安心して暮らせることが移住定住につながると思うが、どう考えているか。

**町長** 犯罪抑止には地域のコミュニケーションが必要と考えている。

**問** 防犯灯は設置されたが、防犯カメラの設置は考えているのか。

**総務課長** 公の場所への設置は進められている。



町民バスのりば



通学路に設置された防犯灯

一般質問



問

2期目の町政運営方針は

答

財政非常事態宣言解除が最優先

**問** 選挙戦から4カ月が経過している。町政の非常事態で始まり、病院改革、財政再建と「我慢の4年間」であったと言葉にしていたが、非常事態宣言解除の見通しはあるのか。

**町長** 公約実現のために多くの事業を検討しているが、財政非常事態宣言の解除が最優先である。今後の「町財政および病院事業に係る有識者会議」からの意見を参考に時期を見極める。

**町長** 財政再建の根幹である病院改革で三転三転した経緯があるが、令和4年度決算では、病院事業会計が改善している。再任された前沢センター長の効果か。

**町長** 医療福祉センター開設の理念に基づき原点回帰のために前沢先生をお呼びした。その人柄は穏やかな雰囲気をつくり、医局会議では、それぞれ率直な意見が出され、一丸となった運営が進んでいる。

**問** 2期目の町政運営では、町民ニーズに配慮することが責務と思うがどうか。

**町長** 病院を守ることが町を守ることにつながり、健全な財政運営もできると考えている。財政非常事態宣言解除に向けて取り組んでいく。

**町長** 「わくや天平の湯」の運営は、どのような状況か。

**町長** 新たにゴールデンウィークや夏休みなどに合わせ、各種イベントを開催するなど、サービス向上に努めている。一方、食堂は撤退の申し出を受けて休止しており、早急に再開できるよう協議している。指定管理者においても各種事業者と交渉しているが、苦戦している状況である。

**町長** 新たにゴールデンウィークや夏休みなどに合わせ、各種イベントを開催するなど、サービス向上に努めている。

一方、食堂は撤退の申し出を受けて休止しており、早急に再開できるよう協議している。指定管理者においても各種事業者と交渉しているが、苦戦している状況である。

一方、食堂は撤退の申し出を受けて休止しており、早急に再開できるよう協議している。指定管理者においても各種事業者と交渉しているが、苦戦している状況である。



本会議場参与席

議会に皆さんの  
ご意見をお寄せください

# キラキラ Voice Vol.26



片桐 晴信さん(上谷地区)

**Q** あなたのことを教えてください。

**A** 焼肉居酒屋Bozの店主です。料理を始めてから十数年になり、令和元年4月から黄金地区で店をオープンしました。

**Q** 議会についてどう思いますか。

**A** アフターコロナにおける飲食店支援策の充実など、町民の福祉向上のための活動を期待しています。


**Q** 涌谷町をどういう町にしたいですか。

**A** 子どもを育てやすい町にしたいです。また、若者が集える祭りなどで活気ある町にしたいです。

**議会から** 議会に関心を持っていただき、ありがとうございます。子ども・子育て支援の充実を図りながら、これからの涌谷を担う若い人たちの力を借りて、活気ある町づくりを目指していきます。今後とも、議会への協力をお願いします。

当議会では、議会の内容を動画配信サイト「YouTube」で生配信しています。

また、各議員の一般質問の内容も動画配信していきますので、以下のQRコードからご覧いただけます。



涌谷町議会の本会議などをパソコンやスマートフォンで見ることが出来ます。

**議会を  
傍聴しませんか**

**次回の定例会議は  
12月6日から  
開催予定です**

詳しい日程と一般質問の内容は、後日ホームページでお知らせします。詳しくは、議会事務局にお問い合わせください。

☎ 43・2127



ことしの夏は、記録的な暑さが続き、もう涼しくなることはないのではないかと疑ってしまうような気候でした。それでも、稲刈りの時期を迎え、いつもと変わらぬ実りの秋を実感しています。

財政非常事態宣言を発出した年の暮れの選挙で、町民の負託を受けて議員となり、4年がたとうとしています。近づく宣言解除に向けて、議会一丸となって、今後の町政に向き合っていきます。

(黒澤朗)

- 編集 広報広聴常任委員会 広報分科会
- 分科会長 稲葉 定  
副分科会長 黒澤 朗  
委員 只野 順  
委員 佐々木みさ子  
委員 竹中 弘光  
委員 涌澤 義和